

三月七日遞相彈劾案上提。之又予期の如く否決。越へて三月九日今議會切つての悪法案であり、吾等の政治を驅つて五十年の昔に逆轉せしめんとする小選舉區制案が最憎むべき鼠輩床次竹二郎によつて本會議に上提せられた。こゝに於て議場暗雲低迷、殺氣滅々、戦はざるに既に怒氣滿場に溢るゝの危機を呈した。物産代議士は全員悉く立つて質問の通告をなし死を賭して我等の普通選舉を防衛すべく決意した。

三月十二日引續き區制案は審議されたが我が、龜井貫一郎氏の質問は滔々三時間に亘り、しかも各種の方面より説き去り論じ盡して區制案を根本的に論難し去つたのであつたが、蓋し同氏の執ようなるかくの如き財政は區制案を葬るべき最も巧妙なる戦術であつたことは敵も味方も否定し能はざる所であつた。

この間に亘り吾等はあく迄この悪法案を葬り去らんがために、議會外に於ては或は一普選擁護同盟を組織し、或は全國新聞記者同盟と提携して、選舉區還元反對同盟を組織し、或は遇々戦ひ續けつゝあつた東京市議戦を利用して反對闘争に結び附け、全國地方支部に指令を發して全國に反對示威運動を起さしめ、以て全輿論をして彼等を壓服せしむるに萬全の努力を拂つたのであつたのであつた。

然し乍らそれに引續く惡戰苦闘にも拘らず、未曾有の議場大混亂にも拘らず、不自然なる外數は遂に稀有の悪法を臆面もなく可決通過せしむるに成功した。萬事休す。我等は再び田園に歸り工場に戻り我等の階級の實力を結成するに外何の方法が我等に残されるか？ 我等はこゝに重大なる決意を餘義なくされたのである。

安部委員長の發言

これより先き三月十八日我等の労働組合法は初めて本會議に上提された。鈴木文治氏説明に努めたが八名の委員に附託され、越へて三月十九日之又我等の健保案が上提され、西尾末廣氏説明直ちに委員附

附のあつたが、我等は受けたのである。同日公選制度廢止を主張する法律案、吾等の委員長安部磯雄氏によつて上提説明されたが、又又安部磯雄氏の内閣委員職務となつた。同日又區制案委員會に於ては龜井貫一郎氏、長崎三時間にも亘る質問を試み極力抗争に努めむる所あつた。この日の吾等の代議士の奮戦に謝すべき多くのものをもつたのである。

三月二十二日公選案本會議に上提され直ちに否決。同日區制案は大混亂の内に可決されたのであるが貴族院に於ては流石の反動的區制案も極度の敵意を以て迎へられ、意識的に審議を延引遂に審議未了によつて事實上の否決の運命に消滅するの結果となつたのである。

反動議會大衆の憤激の裡に終了

かくして未曾有の暴烈的反動議會は三月二十五日を終了した。我等は過ぎし三月の闘争を顧み、ひたすらに資本主義の外廓を防衛する反動政治の、如何に暴力的なるかを今更の如くに知るを得た。それは勿論吾等にとつて過熱の驚愕ではない。資本主義の特定段階に於ける予期すべき一現象であることは云ふ迄もないが、然ら尙吾等は餘りにも臆面なき彼等の暴れいの現實に當面して、我等の反抗意識はいやが上にも燃えさかるを覺ゆるのみである。吾等は今再び工場に還り田園に戻らう！ 我等は末だ實力を不足する。我等の階級の力は決して今議會に現はし得たる程度のものである筈はない。吾等の方はその十倍も百倍も千倍もあり得る筈である。工場に田園に市街にビルディングに我等の階級の威力は満ちてゐる。我等の威力の不足は唯それ等の諸勢力が意識的に疑集されてゐないからである。吾等の議會内の闘争力はかくしてこそ初めて真に何物をも壓服せしむるだけの威力をもつ、吾等は今議會に於ける力の不足に落膽焦燥身を悶えるの愚を避ける。吾等の實力を充實せしめ得るだけの歴史的必然の轉移を待ちもつと同時に、それに相應したる人羣勢力に精進するの決意を更に更に堅くしうではないか！